

大久野島

大久野島は瀬戸内海に浮かぶ小さな島で、竹原港からフェリーで約 20 分。島の周囲はわずか 4km ですが、1000 匹の野生のウサギが生息しています。大久野島は愛情を込めてうさぎ島と呼ばれています。島に生息するうさぎは森や野原を自由に歩き回り、訪れる人を楽しませます。うさぎたちは猫や犬のような捕食者がいない自然環境で繁栄します。ウサギを保護するため、大久野島へのペットの同伴はご遠慮ください。ウサギは食べ物を楽しんで訪問者に近づいてきます。

何世紀にもわたって、大久野島は平和な農業と漁業のコミュニティを支えてきました。そんなかつての農島は、瀬戸内海周辺を攻撃から守るため、日清戦争（1894～ 1895 年）と日露戦争（1904～ 1905 年）の間に要塞化されました。この間に、島には 3 つの砲台が建設されました。

1929 年、大日本帝国陸軍は大久野島に化学の研究と生産のための秘密の軍事施設を建設しました。島は本土から隠され、東京から遠く離れた人里離れた場所選ばれました。1932 年に、軍はその場所を隠すために地図からその場所を消去しました。

今日、廃墟となった当時の建物や遺跡は、そんな島の歴史を伝えております。第二次世界大戦後、大久野島は、全国の景勝地や国立公園内に設立されたリゾートホテルチェーンの国立公園リゾート（休暇村）の一つへと進化しました。

港の近くにあるビジターセンターには、ガラスの床の下に島の大きなモデルが展示されており、観光地やハイキングコースに関する情報が掲載されています。島で見つけた動植物の詳細を展示した展示もあります。また、ビジターセンターでは、工芸体験をすることもできます。

大久野島では、自転車を借りて島を探索するなど、アウトドアアクティビティを存分に楽しむことができます。海岸沿いには、スイミングビーチ、屋外スイミングプール、テニスコート、キャンプ場もあります。大久野島には島全体に遊歩道があり、島の名所や美しい景色を楽しめます。島の南端には、海の景色を望む美しい灯台があります。また、日本で最も高い鉄塔もあります。226 メートルの送電鉄塔は、四国と大久野島を結ぶ大三島支線の一部です。

1950 年、日本で最初に指定された国立公園の 1 つである瀬戸内海国立公園に大久野島が加わりました。瀬戸内海国立公園は 11 県にまたがり、海を含む約 90 万ヘクタールにも及ぶ日本最大の国立公園です。大久野島は、人気の自然観光地そして平和教育の場所でもあります。